



その香り、困っている人がいるかも？



柔軟仕上げ剤は、衣類の風合いを柔らかく保つことと静電気防止効果を持つものです。

以前は、微香タイプの柔軟仕上げ剤が主流でしたが、2000年代後半から香りの強い海外製の柔軟仕上げ剤がブームとなったのをきっかけに、芳香性を工夫した商品の品ぞろえが増え、現在は、消費者が香りの強さや種類を選択できるよう様々な商品が販売されています。

その一方で、「においがきつくて頭が痛くなる」などの柔軟仕上げ剤のにおいに関する相談が、全国的に多く寄せられています。

事例1

柔軟仕上げ剤を使用し、室内干ししたところ、においがきつく、妻と2人ともせきが出るようになった。また、柔軟仕上げ剤を使用したタオルで顔を拭くとせきが止まらなくなった。

事例2

戸建て住宅に住んでいる。隣家の洗濯物の香料で頭痛がし、食べ物の味がわからなくなっている。窓を閉めても、換気扇等からにおいが入ってくる。自分も子どももアレルギーがあるので不安だ。



ひとことアドバイス



- においの強さや種類の感じ方には個人差があり、また自分が慣れたにおいは感じにくくなり、使用量が徐々に増えるということもあります。自分にとっては快適なにおいでも、不快に感じる人もいること、中には頭痛や吐き気など体調を崩す人もいることを認識しておきましょう。
- パッケージ等に記載されているにおいの強さや種類の表示を参考にしながら、適切な商品を選択しましょう。
- 「使用量の目安」を参考にしながら、洗濯物の量に対し適切な量で使いましょう。



生活安全情報

南陽警察署生活安全課から



いまだに、高齢者を狙った特殊詐欺による被害が後を絶ちません。県内では、医療費などの還付に必要な手続きだと偽って、ATMに誘導してお金をだまし取る「還付金詐欺」の被害が非常に増えています。

前年と比べると、7月現在で県内の還付金詐欺の被害件数は4倍増加し、犯行予兆電話（アポ電）の件数も1.6倍増加しています。

ATMで医療費などの還付金が返ってくることは、絶対にありません。ATMに行くように指示されたら詐欺です！



“3つの行動”で自然災害から命を守りましょう



1. 知る！

- 自分の地域のハザードマップ※を家族で確認する
- どこに、どのように避難するかを決めておく

※ 自分の住む地域の危険な場所や避難場所を知ることができる地図



2. 備える！

- 食料をローリングストック法※で備える
- 非常持出袋に必要なものを入れ、すぐ持ち出せるところに置く

※ 日常的に非常食を食べ、食べたらいきなり買い足すを繰り返し、常に新しい食料を備蓄する方法



3. 逃げる！

- 危険な場所にいたら、まず避難
- 避難に時間のかかる人（高齢者や障がいのある人）は警戒レベル3で避難
- 警戒レベル4までには全員避難

警戒レベル	避難情報等	
5	緊急安全確保	（災害発生又は切迫）
【警戒レベル4までに必ず避難！】		
4	避難指示	（災害のおそれ高い）
3	高齢者等避難	（災害のおそれあり）
2	大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）	（気象状況悪化）
1	早期注意情報 （気象庁）	（今後気象状況悪化のおそれ）

9月・10月の消費生活法律相談

9月 9日（木）13:30～15:30

10月 7日（木）13:30～15:30

*弁護士が無料でアドバイス（30分）

*電話で事前予約をお願いします



置賜消費生活センター

〒992-0012

山形県米沢市金池7-1-50

（置賜総合支庁1階）

電話：0238-24-0999

FAX：0238-26-6072